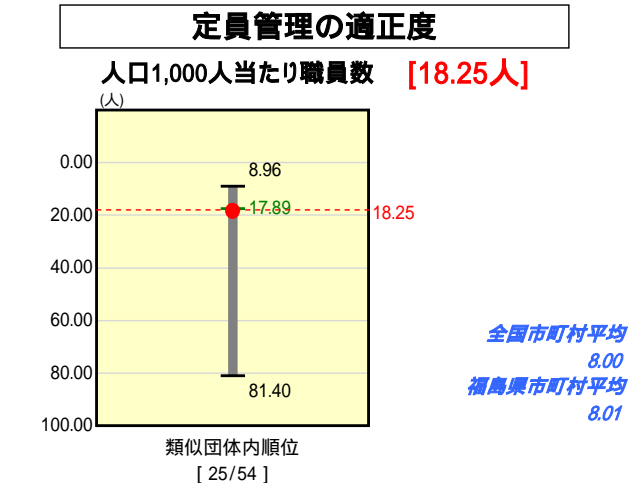
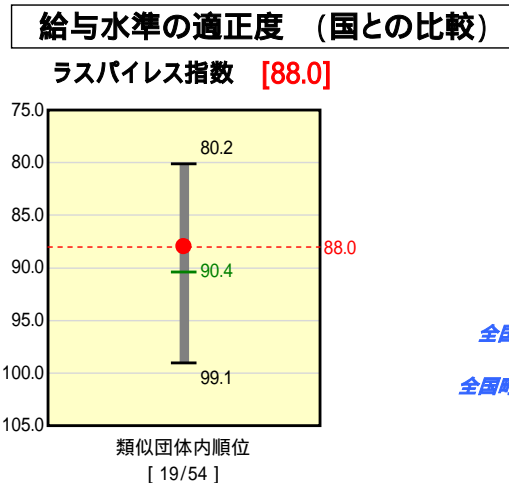
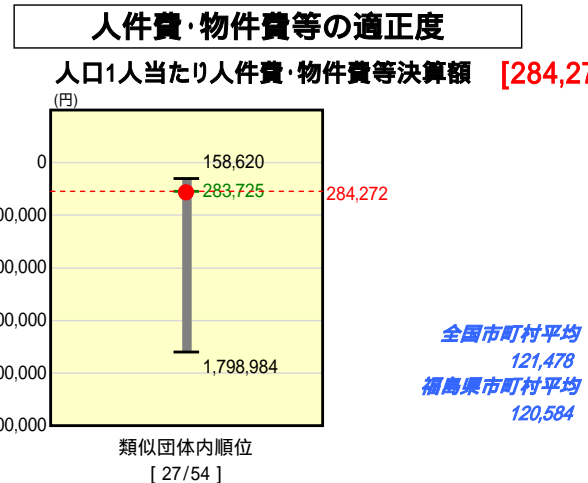
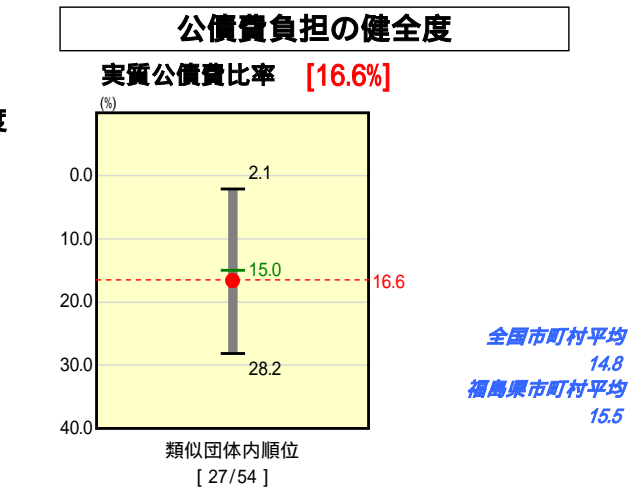
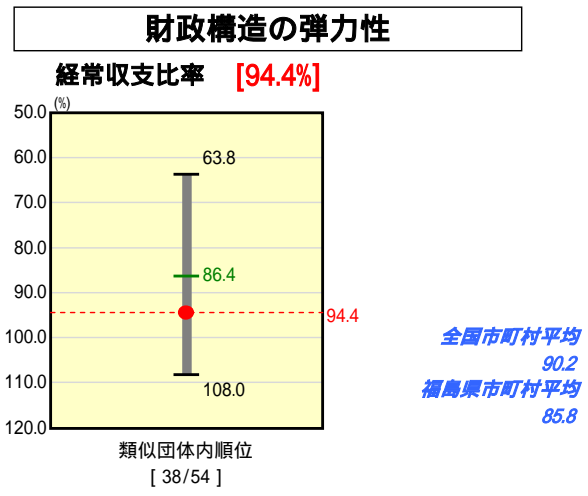
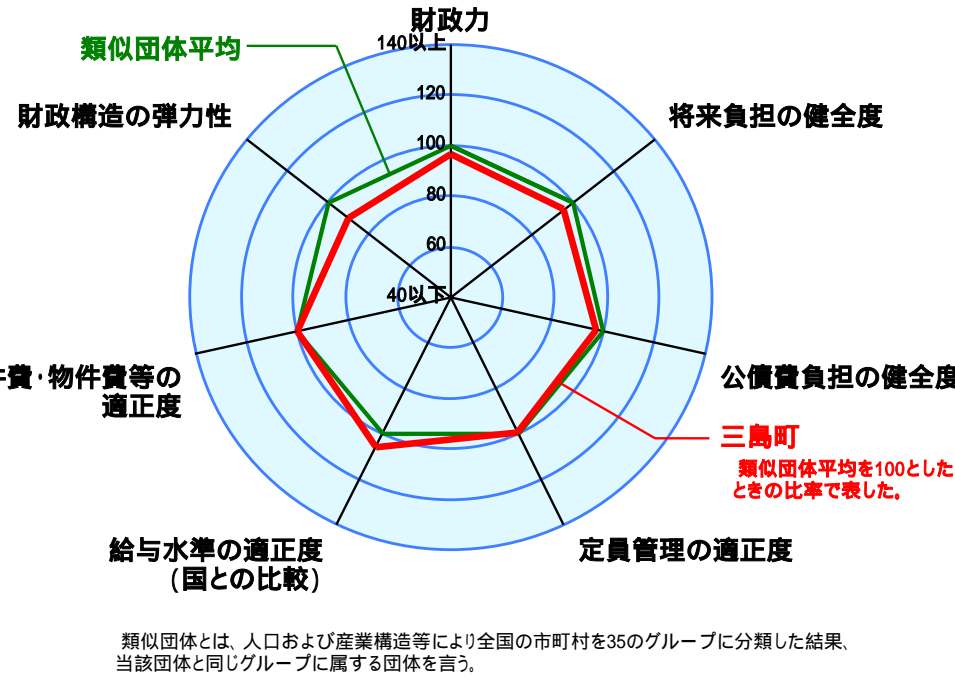
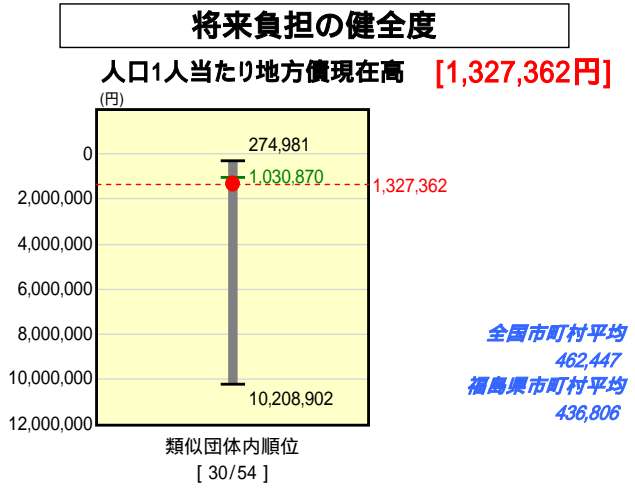
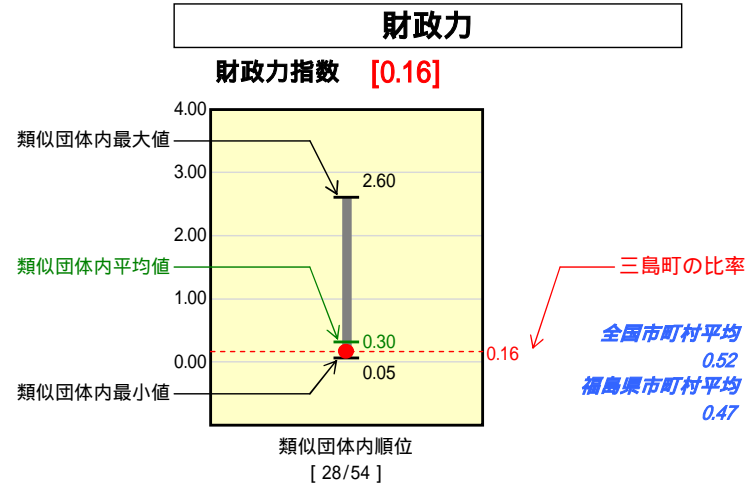


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福島県 三島町

人口	2,301人	(H18.3.31現在)
面積	90.83	km <sup>2</sup>
歳入総額	2,001,629	千円
歳出総額	1,923,670	千円
実質収支	75,555	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
財政力が乏しいのは、経済基盤が脆弱であることにより地方税収が少ないことが最大の要因と思われる。地域経済の低迷により、法人所得は低下し個人所得の低下を招き地方税総額で対前年度比6.5%の減となっている。類似団体との比較においても税収が極端に少ないことが上げられ、税率の見直しも視野に入れる必要が生じてきている状況である。

**【経常収支比率】**  
平成17年度から集中改革プランに基づき大規模な行財政改革を実施し、平成16年度に比し3.8ポイントの改善が図られたものの依然として非常に高い数値で財政が硬直化している状況である。公債費が年々増加していく中で交付税に参入される公債費も増加しているが交付税総額が減少しており、地方税の減収と相まって今後も高水準で推移する見込みである。地方税等の経常一般財源の増加も見込めない中で退職不補充による人件費の抑制に努めている。

**【実質公債費比率】**  
類似団体平均値を上回っており公債費負担が多い上に地方税等一般財源が少ないことが要因である。一般会計の公債費は平成19年度にピークを迎えることとなり以後年々減少していくが、簡易水道等公営企業における施設の更新等に係る公債費が増加しており、歳入増が見込めない状況において今後比率は上昇していくと思われる。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
類似団体平均値を296,492円超過している状況であるが、公共施設等の整備を積極的に図ってきたことによるものであり、平成16年度に比し1人当たり54,061円少なくなっている。今後は、地方債の新規発行を抑制していることにより年々減少していくものである。

**【ラスパイレース指数】**  
類似団体平均値を下回っていることに加え行財政改革において期末勤動手当の10%カットを実施していることにより実質的にはもっと低下している。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
平成16年度で勤奨により4名が退職し、不補充により平成17年度は47名で類似団体平均値と同程度となった。人口減少が続く中で職員数を抑制しても人口規模の影響が大きく人口1,000人当たり職員数は増加していくと思われる。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
人口規模が小さいだけに人口1人当たりで比較すると非効率となってしまうが、平成17年度から大規模な行財政改革を実施したことにより類似団体平均値と同等となっている。引き続き経常経費の削減に努める。